



# 元気通信

ブダペスト日本人学校

## 学校だより

平成30年 1月12日号

### 【年の初めに】 (校長 四ノ宮 貫)

既に松の内も終わりましたが、今年初めての通信ですので、遅ればせながらですが新年の挨拶をさせていただきます。

「明けましておめでとうございます。2018年が皆様にとって良き一年となりますようお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。」

さて、1月8日に始業式が行われましたが、学校に戻ってきた子供たちと、大きな声で元気よく新年の挨拶を交わすことができました。始業式の話として、干支の「いぬ年」について話しました。今回は、始業式の内容を含みながら書いてみたいと思います。

今年は何年ですか?と質問したところ、即座に平成30年、2018年と答えが返ってきました。そこで、日本やアジアの国々では、この他にも年の表し方をすることがあります、と質問を重ねました。なかなか答えが出ませんでしたので、干支(えと)について話をすると、「いぬ年」と答えてくれました。さらに「いぬ」の漢字について問い掛けると、なんと、小学3年生の男子児童が「戌」と書いてくれたのには驚きました。

「戌」の漢字がもつ意味について調べてみました。日本では干支として十二支の動物を指すことが一般的です。戌は十二支の11番目で「ジュツ」と読みますが、動物に当てはめられた「十二支獣」として「犬」が当てられました。ですから戌を「いぬ」と読むのでしょう。「戌(ジュツ)」にはもともと滅びるという意味がありました。しかし、決して悪い意味ではなく、草木が枯れて再び新しい生命が育ち結実を表す、また、刃物で作物を刈って収穫すること、といった意味をもつ漢字でもあります。つまり、これまでの努力が報われて形になるのが戌年だそうです。

今年これまでの努力を基に新しい事の始まりを予感させる、とても縁起のよい年と言えます。きっと2018年は、ブダペスト日本人学校やそこに通う子供たちにとっても実り多き年になることでしょう。



【始業式、生徒会長古田さんによる3学期の抱負】

### 児童生徒会長 古田優大さんの「3学期の抱負」

始業式で、具体的にしっかりとした目標を紹介してくれました。その内容を概要ですがご紹介します。

- ① 勉強をしっかりすること。今よりも勉強時間を増やし受験勉強にも少しずつ取り組みたい。各種検定への勉強を怠らない。
- ② もちつきカルタ大会の実行委員長として、スローガンを達成したい、カルタ大会も去年より良い成績にしたい。
- ③ 児童生徒会長として、「全仲良思」のスローガンを達成するための取り組みに力を入れたい。

### 【転出児童生徒の紹介】

12月20日(水)をもって、原田紗奈さん(小3)が転出しました。また、1月10日(水)をもって、吉田拓磨さん(小3)、吉田彩乃さん(中2)が転出しました。ブダペスト日本人学校でのたくさんの思い出を胸に、新天地でさらに活躍することを職員一同心より願っています。

### 【保護者の皆様へのお願い】

本校の低学年の下校のお迎えのため、V校の玄関ホールでお待ちになっていらっしゃる保護者の方々も多いかと思われます。

V校では、14:30~15:30くらいまで課題の時間となっております、子ども達が教室で勉強をしております。ご配慮いただき、お静かに待機していただけますようお願いいたします。ご理解・ご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。